

第 3 回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会会議録

開 催 日 時	平成 1 9 年 8 月 3 0 日 (月) 午後 2 時 ~
開 催 場 所	4 0 3 会議室 (市役所 4 階)
出 席 者 (8 名)	除本理史、片山務、鈴木寿子、菊地茂、水越洋光、比留間勉、 樋口豊子、渡邊順子
欠 席 者 (2 名)	小林なほみ、荒幡耕司
傍 聴 者 (1 名)	藤居真洋
事 務 局	比留間環境課長、鈴田ごみ対策担当主査
配 布 資 料	* 第 2 回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会会議録 * 会議録 (要旨) * ごみ減量及びリサイクル率向上のためのアイデア * 基本計画上の目標値の相互関係

議 題	1 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の改訂について 2 その他
-----	------------------------------------

<p>会 長</p>	<p>会議に際しまして、現在7名の委員の出席ですので、定足数に達しており会議が成立することを報告いたします。</p> <p>本日も、前回に引き続き基本計画の改訂についてを議題といたします。事前に資料が配布されています。</p> <p>会議録の確認は、今、行なうのでしょうか。</p> <p>事前に確認していると思います、特に問題はございませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>これで間違いがなければ、これを会議録とさせていただきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>お手元に、二種類の会議録が配付されています。公開を行うのは、会議録(要旨)です。長いほうは、公開対象ではありませんが、記録として作成したものです。</p> <p>修整等はありませんか。修整箇所がありましたら、今日中(会議終了まで)にお願いします。</p> <p>今日は二つのことについて、議論したいと思います。</p> <p>一点目は、ごみ減量及びリサイクル率向上のためのアイデア、を各委員から提出していただいております。これ以外に、今日お持ちになっている方はいらっしゃいますか。</p> <p>二点目は、基本計画上の目標値を定めています、今までこの相互関係を考慮せずに考えてきましたので、相互関係について資料として確認していただくために作成させました。</p>
<p>事務局</p>	<p>事前に配布いたしました資料に訂正箇所がありますので、修整した資料と差し替えをお願いいたします。</p> <p>内容は、集団回収量の変更です。18年度の集団回収量を、807tから844tに修整させていただきました。事前に配布したものは、回収させていただきます。</p>

会 長	資料の説明を行っていただけますか。
事務局	説明させていただきます。 基本計画上の目標値の相互関係を、配付した資料(フロー図)に基づき説明する。(鈴田主査)【詳細は省略。】 課長から、補足説明。 相互関係について。 この資料は、配付済み「基本計画」の9ページに目標値が記載されています。その算出根拠を示したものです。【詳細は省略。】
会 長	リサイクル量は、B・E・F・G及びHです。Hとは、中間処理施設で取り出した資源ですか。
事務局	はい、その通りです。 フロー図で見えていただきますと、焼却処理及び不燃破碎処理の過程で資源物を取り出しています。
会 長	資源化率と定義するとしますと、(B・E・F・G)に対して(H)の割合は、どの程度なのでしょうか。
事務局	Hの割合は、17.8%になります。
会 長	ここ数年の推移を確認していただくと、目標値の設定に際して議論しやすいと思います。 また、 $(A+C+D) \div (H)$ の比率を数年間を次回に示してください。
事務局	はい、次回にお示しいたします。

<p>会 長</p>	<p>その比率が明らかになりますと、持込ごみ量等は自動的に算出できると思います。</p> <p>基本計画上の目標値の相互関係につきまして、疑問・質問はございませんか。</p> <p>今日の主要な議題は、各委員の方々から出していただきました、アイデアについてお聞きしたいと思います。この議論の前提は、前回出てきた資料で可燃ごみ及び不燃ごみで捨てられている物の内、かなり資源が含まれている状況がありましたので、資源に回せばリサイクル率の目標値は達成できる。このことがはっきりしたからです。</p> <p>今日は、学校関係者、ごみ処理関係者など重要なセクションの方が欠席されています。各家庭・事業所からのご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>委員から順番にお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>私の考えは可燃ごみの中から、資源ごみをいかに分けるかという考えから出ています。</p> <p>現在、枝は資源として出していますが、草や竹や葉は資源ではなく可燃ごみとなっています。草や竹は資源になるのではと考えています。紙類について、雑紙を収集することにより、可燃ごみが減少したようです。もう一步これを徹底できないかなと思います。</p> <p>それから、可燃物の中の厨芥類について、現在週に2回収集を行っています。臭い等でこの回収回数を減らすことは困難と言われていますが、紙くず等については、週に1回でも十分ではと考えます。</p> <p>四点目は、可燃性資源物を月曜日収集に出来ないのか、と言うことです。その意味は、土日は家庭で仕分けする時間があるので、まず、月曜日に資源ごみを出し、出せなかった物を次の曜日に出すようにすれば、今より分別が進むのではと考えます。</p> <p>五番目は厨芥類ですが、調理屑と食べ残しの分別が出来ないかなと</p>

	<p>思っています。</p>
会 長	<p>今の、委員のご提案について、内容上の確認等がございますか。では、委員お願いいたします。</p>
委 員	<p>行政が行うことと、各家庭で行うことに分けて考えてみました。特に提出した意見の4番ですが、「市民まつり」等で飲み物のカップ等を持参した人に対して、割引等を行えばごみ減量につながり、ごみ減量の動機付けになるのではと思います。</p> <p>行政側が出来ることとして、4番ですが他の委員からも同様の意見が出されています。カレンダーは、毎年見やすくなっていますが、めくる方式では不便を感じています。別の形を考えていただければ良いと思っています。</p>
会 長	<p>具体的な内容が、色々書かれています。最初からお話いただけますか。</p>
委 員	<p>初めから話します。1 容器包装を簡単なものを選ぶ。</p> <p>買い物の時、ごみにならない商品を選びましょう、これは、市報、回覧板等を回す時に、コメントしてもらえればと思います。</p> <p>似たような内容ですが、2 繰り返し使えるものを選ぶ。今、やっとテレビ等のコマーシャルで、リユース・リデュース・リサイクル(3R)言葉が出てきました、それだけでは意味が分からないので、紙ベースで作成したものを、市民に配布し知ってもらうことも大切だと思います。3 マイバックの利用。これは、消費者団体連絡会の消費生活展でマイバックの配付を行なっています。大分使用する人も増えたような気がします。エコバックも、様々なデザインの物が出回っています。エコバック作成講座等を開催し、PRすることも重要だと考え</p>

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>ています。</p> <p>行政側（市）の取り組みとしまして、1 PET・容器包装プラの収集日を、燃やせるごみの日の前日に設定する。これは、前回のときに分別されず、混ざって排出されているとの話を聞きましたので、燃えるごみの日の前であったら、容器包装の日に、プラを排出されるのではと考え書いてみました。</p> <p>2番は、視覚的に訴える方法を考えたとき、思いついたものです。今でも、分かりやすいように、プラマーク等が付いているのですがそれだけだと、まだ分からない方が多いようなので、もう少し分かりやすいよう、視覚に訴えるような方法を考えたらどうかなと考えました。商工会との連携についても、現在、市内の商店で買い物をするよりも大きなお店で買い物をする人のほうが多いと思います。そのようなことがあって、ごみ減量の努力をしていることをアピールするのは、商工振興の助けにもなると考えます。</p> <p>次は、委員の順ですが、今日は欠席なので事務局からお願いできますか。</p> <p>この業者は、実際に市の委託を受けごみ収集をおこなっており、リサイクルセンターも経営しています。</p> <p>委員からも、カレンダーの工夫について意見がありました。一枚のカレンダーにして、ごみ減量の助けにするような考えです。</p> <p>本市は、市内を4地域に区分けして、別々の種類のごみを収集しています。ですから、4地区分のカレンダーを作成する必要があります。カレンダーにつきましては、毎年度より分かりやすいよう、工夫して作成しています。その中で、委員各位の意見を取り入れ、より分かりやすいカレンダーを作成していく考えですので、よろしく願いいたします。</p>
----------------------	--

二番目の、PET・プラスチックをもっと細かく分別したほうが良い。との意見ですが。

現在、PET・プラスチックは同時に収集しています。これを回収し、PET とプラスチックを分別しています。これを細かく分別することによりリサイクル率は向上すると思います。実際に仕事に携わっている人達の意見ですから、そのとおりだと考えます。しかし、収集方法等も同時に考えなければなりませんので、様々なご意見等を伺いながら、今後検討して行きたいと思います。

3番目、小学生の社会科見学に際して、見学だけでなく簡単な体験をし、身近に感じてもらおう。

これは、体験してもらうことは重要だと思えますが、時間的な都合等で体験は行なっておりません。出来れば、このような時間も取っていただきたいと思えます。中学生は、職場体験でリサイクルセンターでの体験を受け入れております。また、ごみ関係の副読本を小学校4年生に配布し、ごみについての教育を手助けしています。小学生の体験につきましては、学校に働きかけてみたいと思えます。

4番目、家庭から出される廃食用油についてです。現在は、可燃ごみとして布等に染み込ませ出していただいておりますが、別に収集するとなりますと、収集体制の問題にもかかわります。集団回収等で回収された場合、再利用されている場合もあります。この件につきましては、今後検討したいと思えます。

5番目、カレンダーの工夫について、先ほども別の委員からもご指摘がございました。こちらにつきましても今後検討していきたいと思えます。

6番目、電池回収の袋の配付についてですが、市では、カレンダー配付時に黄色有害専用袋を同時に配付しております。毎回、有害物を入れられる数は配付しておりません。

ここに書かれているように、電池は扱いが大変ですので、このまま

<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>続けて行きたいと考えております。出し方につきましては、市報等で啓発をしていきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>7番目、蛍光管・電球につきましては、出し方につきましては、常に市報等で啓発を行なっております。</p> <p>8番目、これも同様に周知したいと思います。</p> <p>9番目、リサイクル情報誌につきましては、年に1回発行しております。予算の関係で現在の発行回数になっております。</p> <p>10番目、先ほどの体験と同様に、今後、考えて行きたいと思いません。</p> <p>11番目、ごみ出しのサンプル等を展示する。</p> <p>このことについては、まず、展示するスペースの問題があります。毎年、リサイクルまつりで展示等を行なっております。</p> <p>続きまして、委員お願いします。</p> <p>一つ目、燃えるごみと生ごみを区別して分ける。</p> <p>弊社から出るごみは、各テナントから排出されるものと、来店されたお客様から排出されるものです。それを、一旦弊社のごみ収集庫で受け入れて、弊社が大規模排出事業者として排出している形になっています。</p> <p>弊社の分別ルールは、燃えるごみと生ごみは分類しております。理由は、生ごみは、堆肥としてリサイクル出来ますので、リサイクルできるものは、出来るだけリサイクルするとの会社の方針がありますので、生ごみは別に分けています。</p> <p>市で、実際に行なうことにつきましても、前回の審議会のお話にもありましたが、生ごみと燃えるごみを分ければ、生ごみはリサイクルに回せ、リサイクル率を上げることが出来ると思います。</p> <p>今、燃えるごみは週に2回収集しておりますが、例えば、生ごみを週</p>
---------------------	---

<p>会 長</p>	<p>2回収集し燃えるごみを週に1回収集で対応できると考えます。</p> <p>2番目は、記名式のごみ袋の導入です。</p> <p>排出者責任の明確化が大きな柱です。弊社は、ごみ袋指定は行なっておりませんが、ごみ収集室に計量器がありまして、各テナントがごみを持ち込んだ場合、必ず計量を行なっております。計量を行なうと、計量器からはラベルが出てきます。そのラベルには、テナント名と重量が記入されていますので、各テナントごとに、ごみ排出量がすべてデータとして残るようになっていきます。</p> <p>実際、市で導入するといったしても、各家庭で出されたごみについて責任を持っていただけますし、分別が不十分なものについては、収集を行わない等の方法を探り、分別の徹底を図るようすることができます。</p> <p>3番目、ごみ収集袋を変動価格制とする。</p> <p>実際に、出した量に応じて負担していただく方式です。弊社では、ごみの排出量に応じた金額をいただいております。ただ、各テナントにより排出量は様々となっており、共益費の範囲で負担していただくのは、不公平ではないかとの議論は常に出ています。将来的には、排出量に応じて、費用を負担していただく方式も考えられます。</p> <p>市としましても、全体の排出量に応じて、袋の金額を設定する施策をとることにより、ごみ排出抑制になるのかなと考えます。</p> <p>ただ、下に問題点を記入しましたが、価格基準を明確にし周知していかなければならないし、ごみ袋の原価が高騰した場合、金額を転嫁できるか問題が残ります。</p> <p>その他、一部の人にとっては、不公平が感じられる場合もあると考えられます。</p> <p>事業者として、ご自身の会社でどのように行なっているか、見学の問題も含めて、伺いたいことがあります。</p>
------------	--

	<p>堆肥化を行なっているとのことですが、これは何処の事業者に委託しているのでしょうか、そのコスト(負担)はどの程度なのでしょうか、お教えいただけますか。</p>
委員	<p>すべて焼却してしまえば安いわけですが、堆肥化することで経営を圧迫することはありません。</p>
会長	<p>環境報告書等に、その内容を記載することのメリットは認識していますか。御社の中で、堆肥化を行なうことで、一般に対してプラスイメージを抱かせると認識していますか。</p>
委員	<p>弊社はイオングループなのですが、グループ全体で環境に対する取り組みを行なっております。全体としての、プラスイメージもありますし、イオンモール単体でのイメージアップにも繋がっていると考えます。</p>
会長	<p>環境報告書は、イオンモール【株】で出されているのですか。</p>
委員	<p>はい出しています。</p>
会長	<p>店舗数は、全国でどの程度なのですか。</p>
委員	<p>イオンモールは、全国に46店舗です。</p>
会長	<p>ここで、問題になっている混入ごみですが、分別が不十分なものは収集していないそうで、かなりその点では分別が進んでいると考えてよろしいですか。</p>

委員	<p>各テナントに指導するのですが、従業員の入れ替えが発生しますので、新しい方は認識していなくて、分別が不十分な場合も見受けられます。その場合、弊社のごみ収集員が最終的に分別して排出しています。</p>
会長	<p>そうしますと、大規模排出事業所として、課題として考えることとして今後は、排出抑制が大きな問題になると思います。</p>
委員	<p>全体としては、相当な量になりますので、減らせる物は減らして行きたいと思います。</p>
会長	<p>排出抑制を行なうには、何をターゲットにして行くべきと考えますか。</p>
委員	<p>一番は、燃やせるごみで出てくる部分です。基本的に分別しなければ、殆どが燃やせるごみとして排出されてしまいます。例えば、紙などが混入しています、それをどうやって取り除きリサイクルに回すか、正直、当社だけでは困難なので、各テナントからの協力も必要ですし、後は、お客様から排出されるごみを、どのように抑制するかが問題となっています。</p>
会長	<p>ことについて、事業系一般廃棄物の排出上限を設けていませんが、排出上限を設けるいかがお考えですか。</p>
委員	<p>当然、上限を設けることについて、その意図は理解できます。協力できることは協力します。排出するごみが、環境に与える付加は理解しています、我々としましても協力できることは行ないたいと思います。</p>

会 長	次は、 委員お願いいたします。
委 員	<p>皆様、よくまとめておりますので恥ずかしいのですが。色々考えこのようにまとめてみました。</p> <p>毎日の生活の中から考えてみますと、分別の徹底を行なえば、ごみダイエットが出来るのではと考えます。</p> <p>生ごみの場合も、堆肥化の方法があります。生ごみは、臭いが出ますので、水分を切ることが大切だと思います。</p> <p>それから古紙のことですが、市内から出た紙でトイレットペーパーを作成しています。これをもっと大きく広げられたら良いと考えます。団地では、数十年継続していますが、廃食用油を自主回収し石鹸にしております。とにかく、リサイクルされている物を使うことが大事だと思います。</p> <p>また、リサイクルまつりで不要ななった物を、市民に斡旋していますが、それとは別に、一つの拠点を設けて、何時でも市民がリサイクルした物を手に入れられるように出来ればと思います。</p> <p>分別していないごみも、回収されている場合があります、分別の徹底には回収しないことも必要だと思います。武蔵村山市では、出前講座があります、私たちは、この制度を使い色々勉強してきました、もっとPRしてください。</p>
会 長	委員お願いします。
委 員	<p>先週、第一小学校の校庭でレクリエーションの大会がありました。模擬店等が沢山出店していました。いつもならば、必ず各店舗の隣にはごみ置き場が設置されていましたが、今回はそれが置かれていませんでした。理由を聞きましたら、ごみはすべて自分たちで持ち帰る方法を探ったそうです。このような取り組みは、小さい子供たちに良い影</p>

<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>響を与えようと思いましたが。</p> <p>それとは別ですが、不法投棄の問題ですが、私の自宅前なのですが、決まった曜日に必ず、不法にごみが投棄されているのです。車通勤の途中に投棄していると考えられます。歩道の部分については、家庭で片付けていますが、車道上のものは、市が片付けていると思います。</p> <p>大変だとは思いますが、パトロール等の方法を探り、対処していただきたいと思えます。</p> <p>後は、家庭から出る草等の雑草ですが、これを捨てる時は相当な量になります。これは雑草を採り、一週間程度乾燥させれば、量や重さも三分の一程度になります、このように少しごみを出す時に考えれば、ごみは減らすことが出来ます。</p> <p>ごみのことを考えてもらうには、有料化の方向で考えたほうが良いと思えます。ごみ減量の動機付けのための有料化ですから、袋の値段は安く設定するほうが良いと思えます。</p> <p>委員お願いします。</p> <p>最後になりましたので、他の委員の方と同じご意見も出ていました。燃やせるごみと生ごみの区分を分ける、これは先に意見が出た内容と同じなのですが、分けるようにしたほうが良いことではなくて、もし分けるようになったら徹底して出来るのではと思っています。</p> <p>実際、燃えるごみと生ごみを分けて出している方も多くいます。これは、ビンの日に電池等の有害物を分けて出していることと同様です。これと同じように、燃やせるごみと生ごみを分けて出すことは自然に出来ると思えます。</p> <p>次も、他の委員と同様なのですが、ペットボトル・プラスチック・ビンをもっと細かく分別したほうが良いと考えます。そういう例は他にもあります。友人の住む、横浜市では以前は簡単な分別方法でした</p>
---------------------	---

<p>会 長</p>	<p>が、ここに来て細かく分別するようになったそうです。他の地域でも、分別の仕方は細かくなっているようです。細かく分別しても、市民は協力できます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そういえば、私自身の資料を説明していませんでした、説明を兼ねて論点を整理したいと思います。</p> <p>私自身が行なっていることですが、良く考えてみると内容としては陳腐なものです。ごみ減量のために行なっていることは、生物系廃棄物（生ごみ・雑草）を堆肥化していることです。私は、コンポストを使っていませんで、穴を掘って埋めるだけです。これで、堆肥化を行なっています。ティーバック状のものも、袋を破って中身だけ出して紙だけごみとして出す。雑草についても、先ほどの委員と同様に、積んでいる間に堆肥化しています。枝については、かさばりますので可燃ごみで出しています。</p> <p>その他、細かい点をお伝えしますと、レジ袋は断り買い物袋を使っています、そのほか、容器でかさばるものは、買わないようにしています。そして、リサイクル率の向上には、徹底的に、紙類を分別して出しています。</p> <p>もう少し大きなことを言いますと、衛生という観点から見るようにしています。どの程度の、衛生度で満足するかという考え方も重要だと考えています。衛生の相対性の概念ですか。</p> <p>具体的には、資源のカスケード利用という考え方があります。古代文明以来行なわれている考え方ですが、高品質の資源を必要としない局面では、リユース資源を使う。比較的質の低い物でも我慢できればそうする。例えば、水に関して言うと、農業用水に飲用水レベルのきれいな水を使う必要はない。</p> <p>私自身、ティッシュペーパーなど手を拭いた程度では捨てずに、水資</p>
------------	--

	<p>源保護のため油で汚れた皿などを拭くのに使っています。</p> <p>ごみの話ではないですが、風呂の水や洗い物の水などは、庭に散水したりし、直ぐに捨て流すことはしていません。</p> <p>皆さんの話を聞いていますと、共通した話も出てきています。一つは、雑草の扱いです。積んでいると減量されるという実態があります。資源物として回収していると言う実態もあり、これは、事務局としてはどうなのでしょう。</p> <p>剪定枝について、切ると葉は沢山付いてきます、また、枝のような葉のようなものが出てきます。絵を見ますと、純粹に棒のような状態のものになっています。このような、剪定枝はまず無いのでしょうか。</p>
事務局	<p>枝を切りますと、葉の付いたものは出てきます。現在、堆肥化に回しています。それを考えますと、草等も入れられるのではと考えますが、竹については、繊維がありますのでどうなのかなと思います、現実なところは業者に確認しなければお話できません。</p>
会長	<p>剪定枝については、葉が付いていても回収しています。</p>
会長	<p>細かいものも可能かと思います。検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>業者と協議して、検討することは可能です。</p>
委員	<p>泥が問題なのですか。</p>
事務局	<p>泥は、ごみでないので、区別しなければなりません。</p> <p>草の場合、泥や石が問題となります。</p>
会長	<p>泥も最終的に、堆肥化するのであれば物質としては同じ物では。</p>

事務局	<p>粉砕機等で粉砕します、そのときにどうなのかなと思います。</p>
委員	<p>どうなのかではなくて、今、市はどうお願いしているのですか。</p>
事務局	<p>草は、燃えるごみでお願いしています 剪定枝は、資源として回収しています。草・竹・葉等は可燃ごみで お願いしています。</p>
委員	<p>枝は、機械でチップ化しますよね、その時に石が入っていると、刃 が傷むんです。</p>
会長	<p>草であれば、それこそ置いておけば減量されます。それだけでも大 分良いと思います。これは、闇雲に破砕機に掛ける必用はないと思 います。これは、検討の余地があると考えます。</p> <p>枝だけではなくて、葉や草について資源化する。</p> <p>もう一つは、収集日を改善の意見がありました。</p> <p>基本的には、二つくらいの考え方が出てきました、一つは、可燃・ 不燃の収集日の前に資源収集日を設ける。私も、この意見について、 資源の回収アップに繋がる方法と考えます。</p> <p>もう一つは、厨芥類を、別に分けて収集する。可燃ごみの収集を減 らし、厨芥類は資源として堆肥化として収集する。厨芥類の扱いと可 燃ごみの収集日の削減の意見が出されました。</p> <p>以前のお話では、事務局も検討可能だったように記憶しています。</p> <p>もう少し細かい話になりますと、厨芥類も更に分けられないだろ うか、と言う意見もありました。私は、堆肥化の技術に詳しくないの ですが、調理済みのものと野菜屑のようものでは、かなり違いがある のですか。質が大分異なるのでしょうか。</p>

委員	塩分濃度が、問題なのではないでしょうか。野菜屑等は問題になりませんが、調理屑については入っています。塩分があると、堆肥の完成度が変わってくるのではないのでしょうか。
会長	委員は、飲食店も多いと思いますが、そこから出るものも、主には調理済みのものですか。
委員	そうですね。
会長	それを堆肥化するのに、今出た問題はどのようにクリアーしていますか。
委員	そこまでは、認識していません。
委員	食べ残りより、調理屑のほうが多いのでは。
委員	前回の審議会で、生ごみの堆肥化について議論しました。調味料が入ると難しいとのことでした。
委員	先日、東村山市の生ごみ資源化施設を見学しました。家庭から出す時に、乾燥させて出すようにしていました。
会長	野菜屑だけを分けることを、家庭の段階でどの程度できるでしょうか。
委員	面倒ですが、意識の問題になってしまいます。
委員	マンションなどでは、各台所に粉碎機を入れ、そのまま流している

<p>委員</p>	<p>例があります。</p> <p>それは、駄目になったのでしょうか。</p> <p>マンション内に、特別な浄化槽等を設けた場合ではないでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>厨芥類について、今、私はポイントがずれた話をしたようですが。一つは、有料化と結び付けないとインセンティブが働かないのかなと思っています。野菜屑だけを分けるには、かなり手間が掛かり、食物残渣は有料の可燃ごみであって、野菜屑は無料の資源であるとの分け方をしないと、実施は難しいのかなと言うことがあります。</p> <p>もう一つは、そのような分け方をそもそも行なう必要があるのかと言うことです。堆肥化したときに、どのようにこれを利用するのかです。販売ルートに載るようなものを目指せば、野菜屑等を分ける必要も出てきますが、市内の家庭に、無料で配布するような方法や、公有地に戻す方法等を探る場合、あまり上質な物の必要はないのではと考えます。ですから、どのような質を目指すのかと言うことも関係してきます。</p> <p>これは、前回の審議会ではどのように考えたのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の審議会では、堆肥化したものを市内で使う方向で考えるべきとされました。これで一番問題になるのは、塩分濃度となります。使う立場になりますと、ある程度の品質が必要になります。現在、懇談会で、その方法等を検討しています。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>市内の、公有地に戻す方法は考えていませんか。</p> <p>戻すとなりますと、公園管理にお願いすることになります。現在の</p>

	段階では何とも言えません。
会 長	市有の公園は有るのですか。また、近隣に、都立の大規模な公園は有るのですか。
事務局	都立野山北公園がございます。
会 長	管理事務所、市の公園は、管理担当部署に進めることは可能ですか。
事務局	可能は、可能です。
会 長	なぜこのようなことを聞くのかと言うと、農業者に引き取ってもらうと、かなりクオリティの高い物が必要で、そうすると有料化の方向でないと、かなり難しいのかと考えられます。有料化を前提としないで
事務局	そこそこの、質のものを無料で公有地に使うことは不可能ではないとの考えをお伝えしたのです。
	現在、議論していただいている厨芥類を、分けるかどうかですが、可能性として高いと考えられます。厨芥類は、燃やせるごみの日に出していますが、台所から出す時は、厨芥類は別になって燃やせるごみの中に入れていきますので十分可能かと思えます。
会 長	これは、野菜屑と調理屑と一緒に言うことですね。
事務局	厨芥類だけを分けることです。 分けるとなりますと、こんどは収集方法が問題になります。収集形態を、根本的に見直す必要が出てきます。

<p>会 長</p>	<p>可燃と厨芥を分けるには、系統を増やすことにより、シフトは動かさずに対応出来ますよね。</p> <p>厨芥を分けて収集し、可燃の収集日を減らすことは、かなり現実的ですよね。厨芥類を分別した場合、これを堆肥化するかと言う問題が残ります。個人的には、堆肥化する方向で資源として収集したほうが良いと思います。</p> <p>ただし、クオリティが高い物ではないので、農業者に引取りは困難なので、別途引き受け先を見つける必要が有ると考えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>以前に聞いた話で、はっきりはしていませんが、塩分濃度は調整可能とのことでした。</p>
<p>委 員</p>	<p>調整可能の業者がいて、農業者が使えるものが出来るのであれば、それは良いのではと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>会長から、公有地等に使用したらとのこと、今思い出しましたが、玉川上水べりを歩いていますと、遊歩道が歩きやすいところがあるのですが。村山の部分は、あまりよくないようなのですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>玉川上水沿は、本市が管理する場所はございません。立川市に該当すると思います。或いは、東京都等が管理を行なっているはずで。</p>
<p>会 長</p>	<p>玉川上水には、使用できないようですが、他の公園等には考えていただきたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>ここで、農地法が改正され畑を作りたい人を優先するようになったようです、食料自給率を高める政策のようです。</p> <p>今、ここで考えていることも、その流れの一部のような気がします。</p>

会 長	<p>まさに、そうですね。</p> <p>また、個別に出ている内容について分からないことがありますので、お伺いしたいのですが。</p> <p>市民まつり、出前講座、リサイクルまつり等の記述がありました、この内容についてお教えいただけますか。</p>
事務局	<p>出前講座については、市の行事・事業について自治会等の団体からの申し出により、市の施策等について説明等を行うことです。環境課では、ごみ分別方法、ごみ減量啓発、環境一般について、市民の要望によりその都度開催しています。</p>
会 長	<p>いく先は、主に自治会とか PTA それ以外にありますか。</p>
事務局	<p>学校へも行くことがあります。</p>
会 長	<p>学校の、カリキュラムの中で行なうのですか。</p>
事務局	<p>授業の中で行ないます。</p>
委 員	<p>出前講座は、市報に年間のメニューが書いてあり、市民がそれぞれに申し込む方法をとっています。</p>
会 長	<p>リサイクルまつりは。</p>
事務局	<p>年に 1 回ですが、環境課が主催してフリーマーケットを中心に、ごみ減量、リサイクルの推進を訴えています。</p>
会 長	<p>市民まつりは、市民まつりなんですよ。</p>

委 員	昨年から、開催されました。
会 長	一般的な、市民まつりと考えてもよろしいですか。
事務局	はい。
委 員	福祉まつりに係わっていますが、ごみは出さないようにしています。
会 長	私は、商工会について 委員が出した意見が、かなり面白いかなと考えています。
委 員	私も、メールで意見を出していますが、ここには書かれておりません。
会 長	委員の、3点目のご提案を商工会の立場からみていかがでしょうか。 「それぞれの店舗で販売されているものの売れ行きベスト3ぐらいの分別区分を出入り口等に貼って消費者にアピールする」という意見ですが。
委 員	これは良いですね、提案してみます。
委 員	おまけに、この店のお勧めですよ、ということもアピールできると思います。
会 長	これは、委員の会社の排出量には関係ありませんが、販売された物が、どのように分別されて行くのかと言うと、大規模な店舗にも

	<p>言えることだと思えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>確かに、なかなか良い案だと思えます。同時に商品のアピールも出来ますし。</p>
<p>会 長</p>	<p>売れ筋商品の、提示にもなりますし。</p> <p>これの、効果を追跡するのはなかなか難しいですが。これで、分別率が上がることが期待されます。</p> <p>大分時間が過ぎてしまいました。各委員の、相互のご質問等ございましたらお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>委員にお聞きします。生ごみ堆肥化については、専門業者をお願いしているのですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>はい。</p>
<p>委 員</p>	<p>それを全部持って行って、その先はご存じないのですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>業者で、行っていると聞いています。</p>
<p>委 員</p>	<p>全部入っているのですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>はい。</p>
<p>委 員</p>	<p>リサイクルすることにより、処理金額は安くなるのですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>安くはなりません。</p>

委 員	会社から、仕様書を出しそれに基づいて、費用を算出し処理しています。
委 員	その、利用方法は。
事務局	市内の剪定枝等を混ぜて、人工軽量土を作っているそうです。
委 員	私も、メールで送っています。ミニコミ誌を出していますので、ここにごみの話を掲載したいと考えています。水を切ることが大切ですので、水切りについても載せたいと考えます。
会 長	<p>その他、相互についてのご質問等はございませんか。</p> <p>私が拝見したところでは、面白い提案などもありましたし、共通する話もありました。私なりに、大きく5点程度にまとめられるのかなと思います。</p> <p>一つは、可燃ごみの分別を変更すること。この中で細かく言えば、草・葉を剪定枝と同様に資源物と出来ないか。厨芥類を別に回収できないか。</p> <p>二つ目は、難しい話ですが、収集日を変更すること。</p> <p>三つ目は、ごみの有料化を検討しないといけないのでは。野菜屑などを分けるとなると、有料化と組み合わせないと難しいのではということ。</p> <p>四つ目は、主に小学生を中心とする、学校教育での取り組みです。</p> <p>五つ目は、カレンダーのデザインの工夫です。私は、小金井に住んでいます。月代わりを見て、反対にして分別区分を見ることは、見にくいようです。一目で分かるようなものが必用と思います。</p> <p>その他、電池の袋は不必要。</p> <p>商店に、分別方法の掲示。このように、具体的な話が出てきました。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>ですが、ごみ減量に決定的な行動様式に変わるような話は、なかなかないのかなと言うのが実感です。</p> <p>決定的に、インパクトを与えるのは、資源を無料にして可燃・不燃を有料にすることでしょうか。</p> <p>有料化については、以前から提言しています。</p> <p>平成17年7月に、事業系ごみの手数料の見直しを行ない、粗大ごみの有料化を実施しました。それに基づき、減量効果を検証し家庭ごみの有料化を検討する。これが予定でした。</p> <p>現在、焼却処理施設を同じくする、小平市・東大和市とで統一的に有料化を行なう方向で、検討を行なうように変化しております。政治的な問題となりますので、担当者の段階ではこれ以上お伝えできません。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>行政側ではなく、議会等の問題なのですか。</p> <p>市長と、議会の見解は違っているのですか。</p> <p>有料化についての、提案は行なっておりません。</p>
<p>会長</p>	<p>答申を受け、提案するかは市長の考えですが、状況はわかりました。個人の努力をどのように促していくか、今後重要なのは、学校の立場での話を伺いたいです。</p> <p>また、見学等で漫然と見てもらうのではなく、実際に体験してもらう、混入しているごみを自分で分けてみる、これが重要なのかと思います。</p> <p>今回は、実地に見学の予定ですので、その次に、学校の立場での話</p>

<p>事務局 会長 委員 会長</p>	<p>を聞きたいと思います。</p> <p>見学について、提案したいのですが、大規模排出事業所から委員が選出されていますので、そちらを見させていただきたいと考えていますがいかがでしょうか。</p> <p>また、堆肥化を行なっている事業所も見たいのですが。</p> <p>大規模排出事業所を見た後、堆肥化施設の見学も出来そうですが。</p> <p>収集の仕組みや、現場を見たいのです。</p> <p>ここを拝見して、確認してみたいと思います。</p> <p>社内で検討してみたいと思います。</p> <p>日程を仮決めして、検討をお願いすることにしたいと思います。</p> <p>次回は、10月16日にしたいと思います。この日に仮に決めたいと思います。</p> <p>見学が無理な場合、教育関係と話をすることといたします。</p>
---------------------------------	--

